

機密文書の溶解処理導入

施設部施設マネジメント室 係長 倉持 光男

概要

本学において、機密文書の処分はつくば市のクリーンセンターで焼却処理されていましたが、温室効果ガス削減対策の一環として、平成20年度から溶解処理を導入しました。

溶解処理とは、機密文書を製紙会社に持ち込み、溶解炉に投入して紙を溶かし、トイレトペーパーやダンボールに再資源化する仕組みです。

成果

平成20年度から平成23年度の4年間の実績は、処分量182トン、処分料金2,723千円です。

この量をクリーンセンターで処分した場合と比較すると、処分料金564千円の削減、153ton-Co2の削減になります。

展望

学内で年2回の溶解処理を行い、なお一層の資源ごみのリサイクル化、経費削減、二酸化炭素の削減を進めます。

機密文書がトイレトペーパーに変わります



あなたの未来を施設にします
~ BUILD THE FUTURE. ~
~ 一人一人がプロフェッショナルに ~